

とっとり流

生ごみコンポスト実践マニュアル

生ごみからのコンポスト作り

生ごみは、可燃ごみ（燃やすごみ）の中で最も多く約30%（重さ）もある。生ごみは有機物であり、作物の成長に必要なコンポスト（堆肥）にすることができる。家庭から出す生ごみを減らせれば、ごみの処理量を減らすことができ、ごみの分別も進む。コンポストを使って、街に緑を増やし、花や野菜を作ってみよう！

コンポスト化の手法

ダンボール式：国内で盛んな室内用コンポスト作り。「ピートモス」と「もみガラ燻炭」が材料で、菌材はその場ですぐに作れる。

タカクラ式：インドネシアなどの東南アジアで普及している「早い、簡単、安い」が特徴の室内用コンポスト作り。「もみガラ」と「米ぬか」に発酵液などを加えて1週間くらい、熟成させて菌材を作る。

どちらの方式を選びますか：→こんな方に向きます。

ダンボール式：① 早く始めたい、② 生ごみの量が多くない、③ 臭いが気になる

タカクラ式：①じっくり取り組みたい、②生ごみの量が多い、③ 分解能力を重視

作業の進め方

- ① コンポスト作りに役立つ菌の入った材料（菌材）ができ上がったら、容器に入れて、生ごみからのコンポスト作りを家庭で始めてもらいます。
- ② 毎日出てくる生ごみは、容器の中の菌材と混ぜれば、この菌が生ごみを分解して、その量が大きく減ります。入れる量にもよりますが、順調に処理できれば、容器に一杯になるまで数か月もかかります。（生ごみが消えていくように見えるので、外国では「魔法の箱」と呼ばれます）
- ③ 容器の中で生ごみが混ぜにくくなったら（目安は容器の容量の80～90%）、生ごみを入れるのを止めます。コンポストが乾燥していれば、水を加えて調整（水分：40～60%位）し、通気性のある入れ物（ダンボール、布袋など）に入れて熟成すると、2週間から1か月でコンポストが完成します。

生ごみの入れ方と容器の置き方は？

- ① 容器内に生ごみを入れるとともに、菌の入った材料とよくかき混ぜます。
- ② 水分が足りないときは、スプレーボトルで散布して湿らせます。
- ③ かくはんが終わったら、容器カバー（洗濯用ネット）のジッパーを閉じます。
- ④ コンポスト容器は、通気性のある台の上に置いて下さい。

注意することは？

- ① 1日に1回は全体を良くかき混ぜることが大切です。これにより分解が進むとともに、腐敗菌などの悪さをする菌の繁殖を抑えます。
- ② 虫が入らないようにカバーすることが大切です。容器ごと洗濯用ネット袋に入れて使します。生ごみを入れる容器にも布をかぶせて下さい。
- ③ 入れる生ごみはサイズを小さくするほど、早く発酵が進んで分解していきます。大きいサイズのままで入れると、かくはんが難しくなることもあります。
- ④ 水を加えたりして水分を調整（40～60%位が最適）します。水分があると発酵温度は40～50℃にまで上がることもあります。水分量が多すぎると、発酵が遅くなって悪臭が発生することもあるので注意して下さい。
- ⑤ 万一虫が入ってしまった時は、コンポスト作りを止めて、洗濯ネット袋のジッパーを閉めて放置すれば、2週間ほどで中にいる虫が外に出られずに死滅します。
- ⑥ 菌床作りの際に、もみがらと米ぬかのかくはんが不十分だと、米ぬかの固まりができて、生ごみを分解している時に、米ぬかの臭いがすることがあります。臭いが出てきた時は、もみがら燻炭（消臭効果があります）を入れて下さい。
- ⑦ 生のままのものや魚の内臓は腐りやすく、においの発生やウジがわく原因となるため、加熱しましょう。

コンポストにできないもの

- ・ 天ぷら油、オリーブオイル
- ・ たばこの吸殻
- ・ たけのこの皮、たまねぎの外皮（殺菌作用があります）
- ・ 市販の生花（農薬や除草剤がかかっています）
- ・ ビニール・紙・金属・プラスチック（トレイ、ラップなど）
- ・ バラン、醤油金魚、アルミカップなど（お弁当に使われます）
- ・ 輪ゴム
- ・ わりばし、竹ぐし、つまようじ、
- ・ マッチ
- ・ 腐った生ごみ

分解しにくいもの

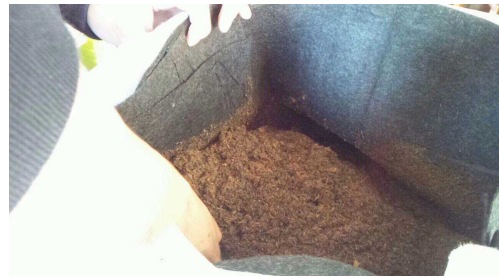
- ・ 貝類やカニの殻
- ・ 剪定枝、枯葉、雑草
- ・ 魚の骨（小さく砕いて下さい）
- ・ とうもろこしの皮と芯
- ・ 落花生の殻
- ・ 果物の種

大量に入れるとかさが増えるので、量を加減しながら入れましょう

ダンボール式コンポスト菌材の作り方



ピートモスともみ殻燻炭（3：2）を容器に投入



攪拌後に水分を加えて含水量を調整

タカクラ式コンポスト菌材の作り方



生ごみのコンポスト化に必要な2種類の発酵液を作成



米ぬか、籾殻、腐葉土、発酵液を混合して攪拌



菌床を1週間位熟成させて菌材を作る

タカクラ式菌材とダンボール式菌材の比較



タカクラ式とダンボール式の実施結果比較
(2013年12月の2週間の実施結果：環大学生)

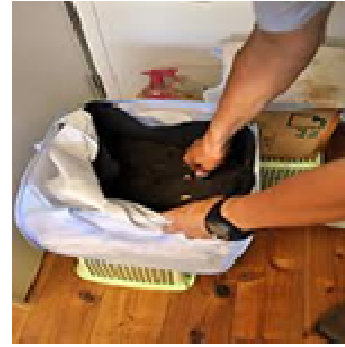
コンポスト容器と生ごみの入れ方



洗濯ネットと不織布植木用バスケット、不織物シートを使用

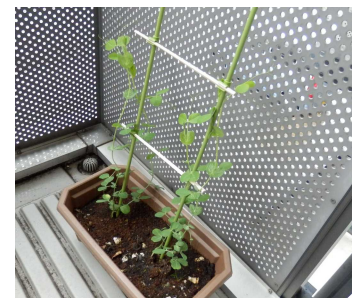
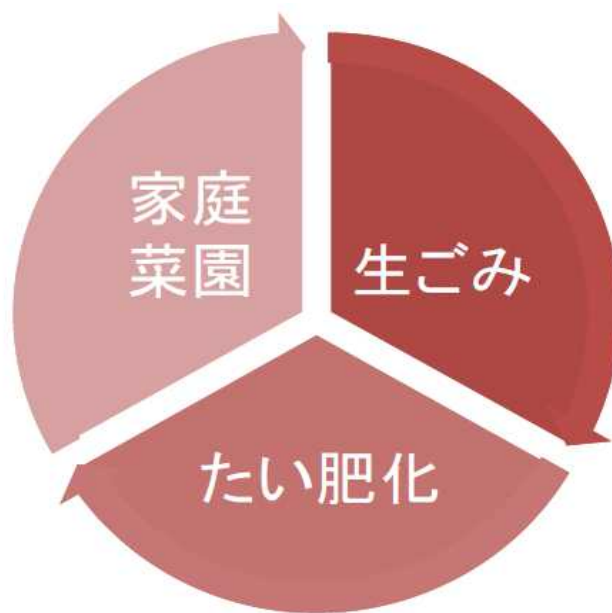


生ごみは小さくすると発酵が促進し攪拌も容易



攪拌は内部まで空気を入れることが生ごみの分解に必要

今すぐ始められる循環型フードライフ



コンポストのある生活があなたのフードライフを変える

とっとり流 コンポスト

作り方!

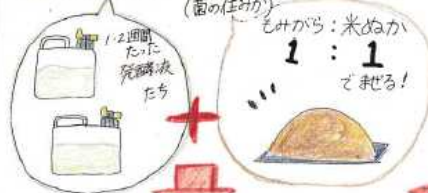
① 発酵液を作ります!



入れたらよ——く
混ぜます!!

そして1、2週間置いておく!!

② 発酵液と菌床を混ぜます!



Point! 土を握った時に...

たんこぼるOK!

X 水が足りない X 水が多い



③ 混ぜたら...

虫が入らないように布を掛けます



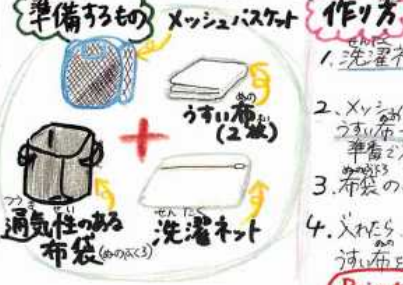
そして...

1、2週間置いておく!!

→出来あがった土は
容器に入れて、コンポスト作り
スタート!!

次はよいよは、コンポストを作ります!!

④ コンポストの容器を作ります!

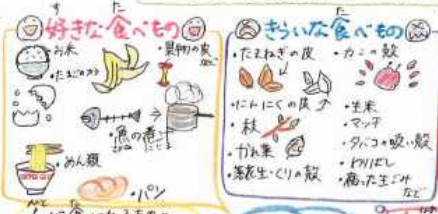


Point! 虫が入らないように
しっかり閉めよう!

⑤ コンポストの使い方!!

コンポストを使ってや——う!!

コンポストは好きな食べ物と
好きな食べ物があつたらあつたよ!!



Point!! 生ゴミを入れる時は
小さく切って
入れると、早く
分解してくれるよ!!

*生ゴミの内臓は??
→ においがキツくなるので
加熱してから入れよう!!

⑥ コンポストの容器がいっぱいになったら... ~肥料としての使い方~



発酵が済んだあとのコンポストは
ほど活気があつた!! 2~3週間たてた後から植物の種を植えよう!!

Q&A ~こんな時どうしたらいい?~

虫が発生しちゃった!! どうしたらいい?
洗濯ネットのチャックを開けて虫が入らないように
するから臭いよ!! 虫が発生したら、コンポスト作りは
5ヶ月以上(2ヶ月間が目安)

やはり独特な臭いが... どうしたらいい?
臭い時は、消臭効果のある、セサミ/活性炭(炭)を入れたり
または水分の状態はどうかな?? 少なすぎて
「とっとり」する位まで水(お茶/ジュース/乳酸飲料など)を
入れて、よく混ぜてあげよう!